

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 徳島文理大学保健福祉学部口腔保健学科
教授 中野 雅徳 先生
2. 演 題 「咬合学と歯科臨床」—よく噛めて、噛み心地
の良い咬合の追及—
3. 日 時 平成29年11月16日(木)17:00~18:00
4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟)2階 第2講義室
5. 要 旨

咬合器上でワックスアップを行い鑄造法でクラウンを製作する従来の間接法術式から、CAD/CAM でクラウンを製作することが一般的になる時代がそこまで来ている。干渉がなく咀嚼効率の良いクラウンを装着するには、技工士の巧みな技と歯科医師の臨床経験が不可欠で、それぞれの技は実験に基づいた種々の研究成果に裏付けられ、より確かなものとなる。その基盤を築かれた歯科補綴学第二講座初代教授の石原寿郎先生の研究目標は今もなお色あせていない。道のりは容易ではないが、CAD/CAMを中心としたデジタルデンティストリーの目標は、名人上手でなくとも、よく噛めて、噛み心地の良い咬合をあらゆる患者に提供できるシステムの確立であろう。

連絡先: 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)